



# かつやま

7 No.656 月号



「涼！」

ゆめお一れ広場に流れる小川で、北保育園の園児たちが「笹舟」を流して遊びました。この川は井戸水だからとっても冷たくていい気持ち。だから最後は水遊びになってしまって、みんなでかけっこ!!

(ゆめお一れ広場)

CONTENTS

ゆめお一れ勝山  
勝ち山夏物語  
HOT話題  
出会いふれあい

平成21年7月9日発行

## 歴史の散歩道

(103)

松瀬青々・首藤素史の句碑

片瀬の仏母寺は平泉寺と共に古くから文人墨客が訪れる地で、いくつもの句碑が建てられている。ここでは、青々・素史の句碑について述べる。

扨あはは榎鳥鳴きつ竹の中 青々  
榎鳥はしぐれて来ずか来しあとか 素史  
青々句碑の裏面には「大正十五年十二月 雨声会」がある。素史句碑の裏面には「昭和二十三年十一月 雨声会・勝山吟社之を建てる」と刻まれている。

この二つの句碑については、勝山における俳句の幕開けと発展について述べねばならない。大正十三(一九二四)年秋、正岡子規門下の松瀬青々とその門弟の首藤素史が勝山を訪れ、成器堂(神明神社にある元講堂)で俳句講座を行う。なお、青々は素史を伴って平泉寺と仏母寺を訪れている。先の青々の句はこの折に詠まれた句で、翌々に句碑が建立された。

また、大正十三年に勝山最初の俳句会「雨声会(榎鳥俳句会の前身)」が誕生するが、二人の俳人の来訪が大きな役割を果たしたと言われる。

青々は明治二十二年(一八八九)年に大阪にて出生、同三十一年に前年から発刊された俳句雑誌「ホトトギス」の編輯を助く。俳句雑誌「玉島・倦鳥」を主宰し、昭和



仏母寺境内になる青々(右)・素史(左)の句碑

文化財保護委員 増田公輔

十二年に没している。素史は勝山元町首藤豊吉の次男として生まれ、大正五年、倦鳥第一巻に青々選として入選して以来青々に師事した。俳句雑誌「穂麦・飛鳥」などを主宰。またしばしば来勝し勝山の俳人たちを指導した。従って、勝山俳壇は素史の指導を受けながら発展してきたといわれる。先の素史の句は昭和二十一年帰郷の際に仏母寺で青々を偲んで詠まれたという。昭和二十三年七月二十五日に素史が六十一歳で没すると、有志・門人の手で、その句碑が当時の勝山公民館前の土手の上に建てられたが、同三十三年に勝山市庁舎の建築で三谷山麓に移転、同四十五年(一九七〇)年に仏母寺境内に移され今日に至る。なお、ここには高木浪華・辻本穆村など著名な俳人たちも訪れている。

### 人口の動き

	5月末現在	自然動態		社会動態		6月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	12,741人	11	8	15	22	12,737人	- 4人
女	13,953人	10	15	16	26	13,938人	- 15人
合計	26,694人	21	23	31	48	26,675人	- 19人
世帯数	8,338世帯					8,336世帯	- 2世帯

編集後記  
いよいよ「はたや記念館 ゆめお一れ勝山」が、7月18日(土)にオープンします。福井県の、そして勝山市の近代化を支えた繊維産業の歴史を紡ぐ博物館として、また観光情報の発信基地として、さらに市民憩いの場所としてお目見えします。オープンとともに暑い夏がやってきます。そして、今年の勝山夏物語もまた熱く開催されますので、そちらの記事もご覧ください。

### 交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成21年6月末	前年比
総件数	215件	-18
人身事故(うち高齢者)	28件(8)	-1(+4)
死者(うち高齢者)	1人(0)	±0(±0)
傷者	32人	+2
物損事故	187件	-17

### 7月の納税

固定資産税▶2期  
国民健康保険税▶1期  
納期間▶7月31日(金)  
口座振替▶7月27日(月)

### 広告

広告のお申し込みは  
秘書・広報課まで